

# 会 議 等 報 告 書

## 1 会議等件名

令和7年度第1回金ケ崎町総合計画審議会

## 2 会議開催日時及び場所

令和7年8月18日（月） 13:30～15:10

金ケ崎町役場庁舎4階 大会議室

## 3 会議出席者名

総合計画審議会委員18名（欠席委員：平慶也委員、高橋清明委員）、高橋町長、鈴木副町長、小原企画財政課長、折笠課長補佐兼政策係長、千葉主査、千葉主事、板宮主事、佐藤保健福祉センター事務長、箱崎主任栄養士

## 4 協議事項の総括

### （1）金ケ崎町まち・ひと・しごと創生推進事業の評価について

「町民主観の住みよさに留意しながら、さらに取り組みを進めるための努力が必要である。」とした。

### （2）飛び地自治体連携による成果連動型スポーツ健康まちづくり事業の評価について

「概ね効果があった」とした。

詳細については、別紙のとおり。

(別紙)

◆委嘱状交付 4名

◆会長挨拶

前回の会議は、2月に開催された。その時は、大寒波がくるということで天候を心配していたが例年雪が多い金ケ崎なのに雪が積もっておらず驚いたところであった。

現在は、連日の酷暑続きの中での審議会となり気候変動を強く感じている。

前回の審議会の際に高橋町長より、盛岡市内ではお米がちゃんと流通しているか町長に伺われた。その時は大丈夫であったが、3月に入りスーパーの棚からお米がなくなった。その後、備蓄米の放出やお米の増産転換の話が政府からあった。本当に増産できるのか、酷暑の中とれるのか心配ではあるが、皆様が酷暑を乗り越え安定した生活ができることを期待しているところである。

本日の協議事項は、金ケ崎町まち・ひと・しごと創生推進事業の評価等である。計画の指標やアンケートについて様々な意見を伺っている。特に今回は、回答数だけでなく何が不満か聞かないと正しい評価ができないのではないかという意見もいただいていた。

評価を数値化するだけでは把握できないこともあるため、皆様からの意見は次期計画に策定において貴重なものになる。忌憚のないご意見をお願いしたい。

◆町長挨拶

酷暑が続いているが、関係者のご協力と農家の皆様の連携により水稻生産に必要な水を調整してきて、なんとか育ってきた。このままいけば、ひどい不作にはならないと期待しているところである。

昨年度以降、お米の価格は上がっているが、米農家として働きたいという人が多くなっているわけでない。金ケ崎町には、3,000haほどの田んぼがあるがその面積を生産し続けるには、これまでより環境を整備して一人当たりの生産面積をひろげる必要があると考えている。その工事のためには1,000億円ほど必要である。過去と異なり農家が直接事業費を負担する必要性がなくなっているが町では事業費の1割を負担しなければならない。割合とすれば1割であるが財政的に非常に大きい額であると感じている。

すべての職業において働きやすい環境が求められているが、農業についても同様である。

そのためには、取捨選択も必要であると考えている。そうしないとこれからの金ケ崎町の農業だけでなく、町の明るい全体像は描けなくなってくると考えている。

この場でいただく皆様からの意見は、非常に貴重なものであるため、ぜひ忌憚ないご意見をお願いしたい。

◆会議成立

委員20名中、18名の出席により、総合計画審議会条例第6条第2項の規定により、成立

### 3 協議

#### (1) 金ケ崎町まち・ひと・しごと創生推進事業の評価について

##### ◆説明

事務局（企画財政課折笠課長補佐）から別添資料について説明。

【資料No. 1-1、1-2、1-3、1-4】

##### ◆協議（以下敬称略）

###### 【A委員】

資料1-2、12ページの説明についてお伺いします。とても丁寧な視点と目標管理になっていると思います。気になるのは、町全体の人口としては維持に向かっていると感じるが、生活圏ごとにみると一部の地域では大きく減少している点です。西部地区では高齢化率が50%ほどになっております。西部、永岡地区の減少が進んでいる原因について、具体的な資料などを持ち合わせているのであれば教えていただきたい。

###### 【折笠課長補佐】

ご質問いただいた内容に対する具体的な資料は、持ち合わせていないが当該地区は、農業振興地域であり、新しく宅地を整備して住宅を建てるのに制限があることが影響していると考えている。

###### 【B委員】

基本的な3つの柱については、理解できました。資料1-3の目標管理シートの進捗について、やや遅れている、遅れているという評価のものが多くあり、このまま過ごすわけにはいかないと考えます。評価と分析内容については、素晴らしいと思いますが、それを活かしてどう取り組んでいくかが重要と考えます。PDCAサイクルの中で新しい視点や考えを取り入れて取り組んでいかないと進歩が少ないと考えます。評価をした後にどのような対応をすればいいのかが見えてきておりません。そういったどのように対応すべきかの分析までができてこないと前に進まないのではないかと思います。

そのためにも、アンケートについて、もっと掘り下げた質問をすべきと考えます。具体的にどういうことを住民が求めているかを把握すべきと思います。せっかくの評価が絵にかいた餅にならないように何が必要かを的確に把握して対応すべきと思います。そういった所を考えて取り組んでほしいです。

###### 【宮本会長】

アンケートの取り方については、継続性も重要なため項目を大きく変えておりませんが、分析手法についてはかなり工夫してきていると感じております。その点についてさらに掘り下げていただくよう意見をいただきました。事務局からご回答お願いします。

###### 【折笠課長補佐】

前回の会議での意見を参考にさせていただき今回は単なる数値だけでなく自由記述についても参考にさせていただいた。性別、年代、居住年数でも記述内容は大きく変わっている。次の総合計画、総合戦略の検討においても自由記述は参考にさせていただきたい。貴重な意見とさせていただく。

###### 【B委員】

金ケ崎町は、女性が男性よりも少ないです。今回のアンケートでもそういったことが反映されていると感じます。女性応援プロジェクトの10項目についてAが4項目、CとDが合わせて6項目となっています。これは、4割は満足しているが、6割の女性は

魅力的でないといっていることだと思います。人口対策には女性にとって魅力的なことが必要である。もっと頑張っけて取り組んでほしいです。

**【C委員】**

資料1-3について、確認と意見です。プロジェクト管理シートのうち出生数の指標が大きく落ち込んでいます。同じ頁にある指標の婚姻届け数をみると3年ぐらい前から減っております。婚姻数が減った影響が出生数に出てきたのではないかと感じています。金ケ崎町は人口減少率が県内でも低いですがこういった数値に対して今後どういった分析や対応を考えているのかお伺いします。

**【折笠課長補佐】**

婚姻数が大きく減ったことについては、事務局としても大きく危惧しております。具体的な理由については、分析しきれておりませんが、委員の意見を聞いてなるほどと感じたところです。人口増に向けては、社会増だけでなく自然増の部分も重要なので分析をしっかりとしていきたいです。

**【C委員】**

今回の配布資料には、ありませんが、金ケ崎町は社人研推計よりも上向かせる人口目標を立てていると認識しております。当時の社人研推計の数値よりは順調に推移していますが、目標に達していない状況です。社会増にむけて進んでいながらも目標との差があるのは、出生数などが影響している可能性もあると思います。次期の計画においても人口、出生数、婚姻数などについて数値を管理することで事業の評価や分析ができると思います。

**【D委員】**

長年金ケ崎に住んでおり、これまで多くの地域活性化の事業をみてきました。例えば火防災や夏祭りです。これまでは、そういった行事に地域みんなで参加してきましたが、最近そういった機会が少なくなってきたと感じます。私の住む地域の夏祭りや運動会もなくなりました。そういった行事がたくさんあると子供たちが参加して自分の地域への愛着が育てられると思っております。地域の活性化を図るためには、みんなが集まって思い出に残るようなことがあるといいと考えます。

**【折笠課長補佐】**

ご意見いただいた視点については、魅力ある地域をつくるために重要な視点であると思っておりますので参考にさせていただきます。

**【E委員】**

知人から里帰り出産したかったと話をされたことがあります。近隣市の産科に聞いたら受け入れが出来なかったり、父の立ち合い出産や面会はできなかったりして里帰り出産をあきらめたと聞きました。今、金ケ崎町に住んでいなくても里帰り出産をし、その人が将来的に戻ってくる可能性はあると考えております。

また、里帰り出産だけでなくこの地域では、自分が生みたい産科を選べない状況であると思っております。そういったことも出生数にも影響しているのではないかと感じております。

**【折笠課長補佐】**

事務局としても出産を躊躇するきっかけは、大小さまざまあると考えております。どういったことがハードルになっているのか意見を伺いながら把握していきたいと考え

ております。

#### 【F委員】

今の妊産婦は、子供を産む場所を選べないのが実態です。

また、上の子を子守りしながらの出産は大変でそれも出産に対するハードルになっていると思います。町でも妊産婦へのタクシー支援はされておりますが、出産期の子育て支援を充実していただければ、助かると思います。

現在、長男が現在結婚を考えています。調べると町でも結婚支援や家賃補助等を実施しておりますが、年収を考慮すると対象外となります。そういった支援の対象となる要件を整備するだけでも、もっと住んでもらえるようになると思います。

#### 【折笠課長補佐】

子育てや結婚支援は、非常に重要な要素なので貴重な意見として参考にさせていただきます。

#### ◆総括

「町民主観の住みよさに留意しながら、さらに取り組みを進めるための努力が必要である。」とした。

### (2) 飛び地自治体連携による成果連動型スポーツ健康まちづくり事業の評価について

#### ◆説明

事務局（保健福祉センター箱崎主任栄養士）から別添資料について説明。

【資料No. 2-1、2-2、2-3】

#### ◆協議（以下敬称略）

#### 【G委員】

健康ポイント事業について、医療費や介護費用の抑制に効果があったと説明でした。遠野市など他でも同様の取り組みをしていると思いますが、そういったところと比べて効果の差などはありましたか。

#### 【箱崎主任栄養士】

金ケ崎町の特徴としては、他の連携自治体と比較した場合、もともと医療費等が抑制されておりました。そのため、事業の成果がどれだけの心配なところもございましたが似たような効果が出た状況です。

#### 【G委員】

私も取り組みに参加させていただきましたが効果も出ているようで良かったです。今後とも状況をみながら取り組みを進めてほしいです。

#### ◆総括

専門機関による資料のとおり経費的にも効果があったので「概ね効果があった」とする。

## 4 その他

事務局（企画財政課折笠課長補佐）から資料3について説明。

#### 【C委員】

次期計画の実際の検討は来年度ということであるが、他の市町村をみると策定の前年度から検討をして審議会を開催しているが、今年度中にそういった審議会の開催を予定して

いるか。

**【折笠課長補佐】**

内部での検討は、昨年度より進めているが、審議会での提案等は町長選挙後と考えております。

**【C委員】**

町長の考えに合わせて選挙後に次期計画の素案について提示ということは、理解しました。素案の提示については、今後としても現在の計画に対してご意見をいただく場があっても良いと思いますがいかがでしょうか。

**【折笠課長補佐】**

ご意見のとおりそのような機会も必要になると思いますので、ご意見に沿って検討を進めたいと思います。

以 上